

提 言 書

平成28年11月

人吉市補助金審査委員会

はじめに

平成28年熊本地震は、熊本県内に甚大な被害をもたらしたところであり、人吉市においても、行政サービスの拠点となる市庁舎が被災したことで行政サービスの分散化に伴う各施設の維持管理費の増大や、観光客等の落ち込みによる地域経済の立て直し、災害への備えとしての防災機能の充実など喫緊の課題が多く見受けられます。

国・県の法令等に定めがなく交付される補助金（任意補助金）は、その財源を市民の皆さんが納められた税金によって賄われており、その使途については市民にとって公平かつ効率・効果的なものであることが前提です。その前提のもと、人吉市補助金審査委員会では、平成27年度の実績について補助金の原理原則である「公平性」「必要性」「有効性」「補完性」の4つの視点から審査を行いましたので、その結果を報告します。

1 審査結果について

審査については、平成27年度に交付し、平成28年度にも予算化されている46件の任意補助金を3か年で審査していくこととし、本年度はそのうち14件の補助金について審査を実施しています。（※6ページに一覧表を掲載）

審査は、平成27年度の交付実績について提出された実績報告書等の審査及び補助金交付団体と担当課を対象としたヒアリングを実施し、委員5名（委員1人につき12点満点）の評点の総計を基に①～④のランクに振り分けました。

その結果は以下のとおりです。

【審査結果】

評 点	ランク	ランクごとの概要	件数
40点以上	①	今回の審査においては、概ね適正であると判断されるもの。	5
39点～ 31点	②	適正へ向け、審査コメントをふまえた改善を要するもの	6
30点～ 25点	③	改善すべき点がみられるので、減額を含めた見直しが必要なもの	3
24点以下	④	原則交付すべきではないもの	—

2 今後の補助金制度の運用について

今回の審査にあたり各委員から出された意見の中で、今後の運用において特に改善を求める事項は以下のとおりです。

(1) 全般的事項

① 提出される報告書及び資料について

- ・実績報告書については、すべて所定の様式を使用されており、前回から改善されている。
- ・補助金の推移や交付団体の目的・事業内容が分かるような規約などの提出もお願いしたい。

(2) 市に関する事項

① 補助金として交付するに適さない事業

- ・事業内容の説明を聞くにあたり、市の事業として実施した方がよいのではないかと思われるものがあった。

② 交付団体と市との関係について

- ・市がより深く係わったほうがよいと思われる事業、所管部署を変えたほうがより効果的ではないかと思われる事業があった。

(3) 補助金交付団体について

① 事業の内容等について

- ・団体の本来の目的や趣旨、事業内容に沿っていないと思われるものがあった。
- ・事業実施による効果等を検証し、事業のあり方を再検討すべきものがあった。
- ・長年継続されている事業でマンネリ化がみられ、補助金を消化するための事業と思われるものがあった。
- ・公益性、必要性はあるが有効性が低く、事業実施について工夫が求められるものがあった。

② 補助金の使途等について

- ・賞品など特定項目の割合が高いものがあった。

③ その他

- ・申請者と交付決定者が同一（市長）であるものがあった。

民法第108条で禁じられている双方代理、自己契約にあたるうえ、社会通念上からも補助金の交付を受ける団体の代表者は交替すべきである。

- ・交付要項に定める補助金の上限は、原則1／2とされているが、それ

を超えているものについては、明確な理由が求められる。

- ・形式的に対象外経費を計上しているものがあった。
- ・補助金交付を前提として、収入の確保に対する自助努力が希薄に感じられるものがあった。

- ・予算に対し繰越金が多額なものがあった。

特にその財源が市からの補助金のみとなっている事業については、多額の繰越が発生するのは不適切であり、事業完了後は速やかに精算すべきである。また、予算を見直し補助金を減額することも検討すべきである。

- ・補助金の根拠となるもので予算化されているにも関わらず執行されていないものがあった。

- ・補助金を各団体の統合機関に交付しているものがあるが、その中で基準が統一されていないため評価が難しいものがあった。

(4) その他

- ① 交付団体から別の交付団体への負担金の支出があり、重複交付とみられるものがあった。
- ② 補助金の名称がその活動とそぐわないものがあった。
- ③ 交付団体の構成員の高齢化等により、今後の事業継続が懸念されるものがあった。

3 おわりに

本年度は、4月の熊本地震により多くの人命が失われ、住宅や熊本城をはじめとした文化財、道路・水道などのインフラ、生活物資を得るための商店など多岐にわたる被害が発生し、仮住まいでの不自由な生活を送られている方も居られ、道路なども完全に復旧していないような状況です。

このような状況であるからこそ、補助金等基本条例が目的として掲げる「行政と市民との協働」、「相互協力」また原則として掲げる「広く市民の福祉向上及び利益の増進に寄与すること」がより一層の重みを増してくるのではないのでしょうか。

市から支出される補助金は、当然にして税金が原資となっており、その税金を負担しているのは、言うまでもなく市民です。特に、この厳しい財政状況を踏まえ、また、その補助目的を鑑みた上で、真に適正かつ効果的な交付と執行がなされるべきと考えるところです。

今後、人口減少が進み財源も限られてくるなか、交付をする側も交付を受ける側も「補助金は市民の税金である」という共通認識を強くもち、その使途については説明責任を有するということをしつかりと理解しておかねばなりません。さらに補助金交付開始後、相当の期間が経過している補助金も見受けられたところであり、補助の性質上継続的に財政支援を行うことが求められるようなものは別としても、やはり補助効果の検証を行い、経済社会情勢の変化、市民等のニーズに応じた事業の在り方を見直すこと、財政面でも自立できるような方策を検討していくことも必要なことです。

今回審査した補助金は、全体の3分の1ではありますが、本審査が上記のことを再認識いただくとともに「市民との協働」の一助になれば幸いです。

人吉市補助金審査委員会

会長 上拂 耕生

委員 小林 英敏

委員 中島 尚子

委員 深水 雄二

委員 村田 優子

【委員会活動実績】

第1回 平成28年9月27日（火）午後1時30分～午後4時

[内容]

- ・会長選出
- ・補助金審査の方法について
- ・今後のスケジュールについて

第2回 平成28年10月25日（火）午後1時30分～午後5時

[内容]

- ・補助金審査のためのヒアリング（5補助金）

第3回 平成28年10月28日（金）午前9時～午前12時

[内容]

- ・補助金審査のためのヒアリング（4補助金）

第4回 平成28年11月11日（金）午前9時～午後0時30分

[内容]

- ・補助金審査のためのヒアリング（5補助金）

第5回 平成28年11月22日（火）午後1時30分～午後4時

[内容]

- ・審査結果について
- ・提言書内容についての審議

第6回 平成28年11月28日（月）午前10時～

[内容]

- ・提言書内容の確認
- ・市長へ提言

平成28年度 審査対象補助金

No	担当課	補助金名称	H27補助額	区分
1	福祉課	人吉市遺族会補助金	80,000	奨励・支援
2	福祉課	人吉市身体障害者福祉協会補助金	260,000	奨励・支援
3	保健センター	人吉准看護学院補助金	1,500,000	奨励・支援
4	農業振興課	人吉ブランド化実行委員会補助金	1,400,000	施策
5	商工振興課	人吉球磨建築木工まつり補助金	85,000	奨励・支援
6	商工振興課	中小企業人材育成助成事業補助金	400,000	奨励・支援
7	観光振興課	大村古墳まつり補助金	48,000	奨励・支援
8	学校教育課	私立学校助成補助金	855,000	奨励・支援
9	社会教育課	人吉市青少年育成市民会議補助金	350,000	奨励・支援
10	社会教育課	人吉市弓道連盟補助金	95,000	奨励・支援
11	社会教育課	人吉市スポーツ少年団補助金	190,000	施策
12	社会教育課	川上哲治旗争奪軟式野球大会補助金	285,000	奨励・支援
13	社会教育課	おどんな日本一武道大会実行委員会補助金	2,231,500	施策
14	歴史文化課	球磨の民謡全国選手権大会実行委員会補助金	1,200,000	奨励・支援